



## 課題4-4 家族で話そう 防災のこと

### ◎指導のポイント

生徒自身が「家族の防災リーダー」として、実際に家族会議が開けるよう支援したい。そのためには、家庭の協力が大切なので、保護者への啓発も忘れずに行いたい。

<b>家族の防災会議</b>	
<b>家の中の安全</b>	<p>それぞれの部屋の安全対策は充分ですか。出口や逃げ道は確保できていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家の中の避難場所を決定する。(家の中で一番安全な場所の確認)</li> <li>○自分の身の守り方を確認する。(昼間・夜間)</li> <li>○家具や家財道具の転倒防止, ガラスの飛散防止対策を行う。</li> <li>○家(建物)の耐震対策を行う。</li> <li>○火災を防ぐための対策を行う。(消火器・電気機器・ガス機器・石油機器などの点検及び取扱方法の習熟)</li> <li>○出口や通路を確保する。(最低2方向, 集合住宅ではベランダを含む)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「安全」に対する考え方, 経済的なことも関係するので, 家庭によって異なる。</div>
<b>家族の役割分担</b>	<p>大地震が起きた時から避難するまでの家族一人一人の役割は決めてありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○非常用持出袋を持ち出す。(課題4-5「非常用持出袋」編との関連)</li> <li>○一人で避難することが困難な家族(乳幼児, 高齢者, 病人, 障害のある人)の避難を補助する。</li> <li>○火の元を確認し, ブレーカーを遮断する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">だれかが不在の場合もあるので, 様々なケースを想定して話し合わせる大切である。</div>
<b>留守番の時</b>	<p>子どもだけで留守番をしている時はどうしたらよいか決めてありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や兄弟の安全を確保する。(弟や妹の世話)</li> <li>○火の元を確認し, ブレーカーを遮断する。</li> <li>○非常用持出袋を持ち出す。</li> <li>○連絡方法, 避難方法, 避難場所の確認をしておく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">一番不安や恐怖を感じる場面だが, 自分で的確に判断し, 迅速に行動する力が必要となる。ふだんからの話し合いや訓練を生かすこと, 近所の人の助けを借りることが大切である。</div>
<b>安否の確認</b>	<p>家族が一緒にいない時, 連絡方法は決めてありますか。</p> <p>家族が, ばらばらに被災することを想定して考えさせる。災害後しばらくは災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービスを含め, 電話が使えない可能性があることを知ったうえで考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まずは直接集まって, 安否を確認することを考える。</li> <li>○家から離れた場所で被災したらどうするかを考える。</li> <li>○子どもが学校にいる場合の引き渡し方法を確認する。</li> <li>○災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービスをどのように使うか, 確認する。(ポケット版防災冊子を参照)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分が帰宅困難者になることを想定し, どう対処したらよいかを考えさせる。</div>
<b>避難経路と場所</b>	<p>避難場所は分かっていますか。また家から避難場所までの避難経路は分かっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難場所・避難所はどこにするのか, そこまでの道順や通る道は安全かどうかについて, 学区や地域の地図を渡し, 確認させる。</li> <li>○集合住宅の場合, 逃げ道は確保されているかなど, 経路の確認をさせる。</li> <li>○学校にいる場合, そうでない場合について考えさせる。</li> <li>○実際に避難場所・避難所まで歩いてみることの大切さに気づかせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">避難場所・避難所までの道で, 被害を受ける場合もある。日常生活の中で, 災害に強いかどうかという視点で歩いてみる大切である。</div>

決めたことは、「防災カード」に書いて、掲示したり、各自が携帯したりするようにしましょう。